

白書（案）変更箇所

番号	変更箇所（ページ数）		変更理由
1	管理数量、金額等（全体）		前回協議会時点（5月9日）では、他機関からの資料など、平成28年度末の数値で取りまとめるために必要な資料が、足りなかったが、現時点で資料が揃ったため差し替えを行った。
2	構成の変更	管理ボランティア制度の推移（P210）	P207からの維持管理の現況が、事務報告書の内容を載せているため、同じく事務報告書に記載のある、管理ボランティアをまとめた。
3		将来経費の予測額全体（P252）	P253の予測結果の評価と見比べることができるように位置を変更した。
4		インフラマネジメントの関心（P256）	後半に新たに章を作って載せることで、項目を目立つようにした。インフラマネジメントのことをもっと知ってもらうための新たな施策を、インフラマネジメント計画に追加する。
5	経費予測の条件 表 4-1-1「維持管理」にかかる費用予測の条件（P228）		前回の協議会の中で、ガードレールがどこに含まれているかという質問があった。決算資料から、車道の維持管理の中で見込んでいたため、防護柵等についての文章を1文追加した。
6			予測の条件を、平成28年度の実績としていたが、平成19年度から28年度までの10年間の執行額平均とする。ただし、街路樹と公園緑地等は、平成29年度の予算額を、維持管理に必要な費用として試算する。
7	経費予測の条件 表 4-1-2「補修更新」にかかる費用予測の条件（P229）		予測の条件を、平成19年度から28年度までの10年間の執行額平均で、平成28年度の健全度を保つことが可能とする。